

あ　と　が　き

本巻は『奈良市史 通史三』（安土桃山時代・江戸時代）であるが、諸般の事情によって、通史としては最初に刊行することになった。

本巻の執筆編集は、つぎの執筆者による共同作業であるため、文体・用字その他で多少統一を欠くものとなったが、できるだけ整理につとめたつもりである。また一般的な通史をめざしたから、先学の業績に多くを負いながら、その注記を省かせていただいた。図表を多く用いたのは、叙述の簡略化をはかるだけでなく、実情をわかりやすくしたためである。

本巻では現奈良市域全体を一応対象としたが、特に旧奈良町を中心に町のくらしを明らかにすることにつとめた。またこれまでにふれられることの少なかつた近世文化について相当頁数をさいた。被差別部落の記述については、それぞれの章の中に位置づけて項目をたてたが、それは被差別部落の完全解放を念願してのことである。江戸時代については残存史料が多い。したがってその採訪につとめたが、なお未調査の史料も多いことと思われる。それは調査執筆者の努力不足のいたすところとして、寛恕を願うほかはない。

この間史料所蔵の方々からは一方ならぬ御協力をいただいた。それなくしては本書は成らなかつたであろう。また図版写真など所蔵の方々ならびに撮影された方々からも、その掲載に御快諾をいただいた。さらにそれらのために斡旋して下さった方々もある。ともにすべて御名前をここに記すべきであるが、これを省かせていただいたことを御許し願いたい。あらためて皆様に厚く御礼を申し上げる次第である。終わりに市史編集室の各位には史料の収集から原稿の整理や校正まで随分御苦勞をおかけした。感謝の意を表す次第である。

昭和六十二年十月

執筆者 (五十音順)

執筆担当者 (五十音順)

安彦 勘吾 帝塚山短期大学非常勤講師  
神戸女子短期大学非常勤講師

第一章 第一節 岩城 永島

第二節 安彦 岩城 和田

岩城 隆利 名古屋学院大学名誉教授  
関西女子美術短期大学学長

第二章 第三節 岩城 吉田

後呂 忠一 元奈良教育大学教育学部附属中学校副校長  
東大寺学園中・高等学校教諭

第二章 第一節 木村

第二節 木村 平井

大久保 信治 榎原市立白檀中学校校長

第三節 木村 平井

奥谷 道夫 元奈良女子大学文学部附属高等学校教諭

第三章 第五節 奥谷 木村

木村 博一 奈良教育大学名誉教授  
東大阪短期大学教授

第一章 第一節 岩城 平岡

第二節 安彦 岩城 後呂 和田

永島 福太郎 関西学院大学名誉教授

第四章 第四節 岩城 後呂

平井 良朋 天理大学教授  
天理図書館近世文書室長

第四章 第一節 岩城 奥谷

第二節 岩城 吉田

平岡 定海 東大寺執事長  
龍谷大学講師

第三章 第三節 岩城 平井

吉田 栄治郎 奈良県立信貴ヶ丘高等学校教諭

第五章 第一節 大久保

第二節 岩城 大久保

和田 義昭 元東大寺学園中・高等学校教諭

大久保

奈良市史 通史三 ©

昭和六十三年二月一日発行

編集 奈良市史編集審議会

発行 奈良市

印刷 共同精版印刷株式会社